

# 新報

島根県教育庁  
隠岐教育事務所  
隠岐県那賀郡佐田町  
電話2-9772

## 子供に気づく

所長 熊本直宏



新しい年が始まりました。本年も皆様にとってまた子供たちや学校、地域の方々にとって幸多き年でありますようにお祈り申し上げます。新型コロナウイルス感染症状況も徐々に落ち着きをみせる中、学校行事や交流会、各種大会が行われるようになり、日常の生活と活気が戻りつつあることを喜んでいきます。

全力を尽くすとともに、子供たち一人ひとりに丁寧に向き合える環境をつくるために働き方改革への理解と協力をお願いするものです。「協力していただきたいこと」の内容として、

- 緊急時を除く学校への勤務時間内の電話
- 登下校の家庭や地域での見守り
- 地域・学校の連携を深めるため、学校への参加を求める会合等の可能なものの勤務時間開催の検討

を挙げ発信しています。島根県教育委員会策定の「教職員の働き方改革プラン」にあるように、働き方改革は、業務を無計画にスクラップ・スリム化し、単に退勤時間を早めることだけを目的に行うものではありません。教職員が必要な業務に時間をかけられるように、業務全体を見直

し、精選することで、子供たちと向き合う時間を確保し、効果的な教育活動を行うためのものです。私たちは、限られた時間の中で、共同メッセージで宣言されている、子供たちのために全力を尽くし、一人ひとりに丁寧に向き合うことの意義を、改めて考えなくてはならないと思います。

私は子供たちのために全力を尽くし一人ひとりに丁寧に向き合うこと、その根っこに「子供に気づく」ことの大切さを据えたいと思います。教職員が、時には真正面から、時には寄り添い、心と体を動かしながら、子供と向き合う時間は、日々の子供たちへの気づきの感覚を研ぎ澄ますことにつながるからです。この気づきに関してある研修会で聞いた文教大学の柳生和夫教授の言葉が印象的でしたので紹介します。

子供は一日五回以上は先生と視線を合わせようとすると言われます。回数的问题ではありません。要はその教師がその視線に気づき、子供

との間に交流が行われた否にかかかります。子供の視線に気づかない教師に対して、やがて子供たちは視線を向けないようになります。子供に気づくという教師の姿勢は、教育の重要なポイントです。学校の荒廃も教師の気づかない、気づかないふりをすることから始まります。教師は子供と日常の生活をともにすることで、児童生徒理解

(アセスメント)が深まっていきます。この理解の過程が信頼関係そのものなのです。この子供としっかりと向き合い、気づく姿勢が子供を守り包むことにつながり、安心して学校生活を送ることができるようになるのです。

子供に気づくという姿勢は、児童生徒理解を深め、信頼関係を築くとの言葉です。この姿勢は、教師の仕事の根幹である授業づくりにも必要なものです。教師が一方的に教え、表面をなでているような授業では、子供の学びは深まりません。子供一人ひとりの思いや考えをしっかりと捉え、一緒になって考えた

り、悩んだりすることで交流が生まれ、子供たちは自分の考えを深め、素敵な授業(学び)が生まれてきます。子供同士の主体的な学びを支える教師の姿勢は、子供への気づきそのものです。

働き方改革により生まれる子供と向き合う時間を通して、全力を尽くし一人ひとりと丁寧に関わること、教職員のみなさんの子供への気づきの感覚と子供たちとの心の交流が深まり、子供たちに関わることの喜びややりがいと溢れる一年になるようにと願っています。

教職員のみなさんと向き合うことを大切に、「元氣とやりがい」支援をめざす教育事務所スタッフ共々、今年もどうぞよろしくお願ひします。

## 定期人事異動

ご承知のように人事異動は、「学校の教育活動を一層精新活発にし本県教育の推進に資する」ことを目的に広域的な視野に立ち行うものです。隠岐管内の広域人事については、隠岐に生活の本拠地を置く者は、島前・島後をそれぞれ特例地域として、特別な家庭の事情がある場合を除き、概ね四十五歳に達するまでに当該特例地域での勤務を四年行うこととして後、同一市町村十五年に係る細則は適用されないこととなります。隠岐管内四町村はすべて、陸路でつながる隣接市町村がない地域です。こうした隠岐の地理的特殊性から人事交流に際して、先生方の負担も大きいことは承知しています。しかしながら、隠岐全体の子供のため、隠岐全体の教育の発展のために広域的な人事が必要不可欠となります。個々の事情があることと思いますが、どうかご理解ご協力をお願いいたします。また、今後段階的に定年年齢が延長されることを踏まえて、将来的な赴任計画を考

